

株式会社調和技研

テレワーク導入事例

03

- 所在地/札幌市北区北21条西12丁目2北大ビジネススプリング305号室
- TEL/011-717-7017
- 代表者/代表取締役 中村 拓哉 ●設立/平成4年2月
- 資本金/2,325万円 ●従業員数/35名
- URL/<https://www.chowagiken.co.jp/>



代表取締役 中村 拓哉さん

導入したきっかけ

結婚・出産などで家庭に入った女性の優秀な研究者たちへ働く場所を提供するため。

導入した結果

優秀な人材の確保。
リスクが分散できる。

POINT



▲WEBカメラを通じた会議の様子



▲同社は札幌、東京、バングラデシュに拠点があるが、ネットワークが繋がればどこにいても仕事ができる

INTERVIEW

優秀だが家にいる女性たちに活躍の場を。 働き方改革、女性活躍推進法にも貢献。

私たちは、北大発のベンチャー企業で、先端技術の研究開発を行っています。AIの研究者は世界的に人材が不足している一方で、豊富な専門知識や優れた技術を持っているながら、結婚や出産、子育てなどで家庭に入ってしまう優秀な女性たちがたくさんいます。そんな女性たちが、生活に合わせて研究や調査などの仕事ができる環境を整えることができれば、働き方改革にもつながり、女性活躍推進法にも貢献できると思いました。

テレワークを導入した理由は、そのような女性たちに、継続した就業につながる環境を提供できると考えたからです。実際、子育て中の博士号取得者や自宅で介護をしている方の雇用に繋がり、今は15人がテレワーク制度で就業をしています。

今回補助金を活用して、セキュリティ機能が充実している業務に適したパソコンを3台購入しました。セキュリティの課題やどこまでできるのかを実証する良い機会です。また、この度のコロナウイルス感染を受けて、必ずしも会社で働かなくても良いという環境をつくることは、リスク分散にもなると思いました。

通勤に1時間もかかるならその分本を読んだ方がいいだろうし、社員が100人いたら100人が入れるオフィスや机が必要になりコストがかかります。でも家で仕事ができるならそうした問題は生じません。オフィスコストにかかる分でセキュリティを堅固にしたり、よりよい環境を整えた方がいい。今後は、この度の実証結果を踏まえてそういった展開にも取り組んでいきたいと思っています。